



(公社) 岩手県トラック協会
会長 高橋 嘉信

新年のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様におかれましては、常日頃から協会の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り衷心より厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、全国的には、4月には「熊本地震」、10月には「鳥取地震」が甚大な被害をもたらし、11月には福島県沖を震源とする「東日本大震災」の余震とされる地震が発生しました。一方、当県においては、8月30日に襲来した台風10号により、会員事業者においては、人的被害は無かったものの、事務所（建物）の浸水や数十台の

車両が濁流に飲まれ走行不能なるなど、沿岸部を中心に多大な被害を受けました。被災された皆様に対し、あらためてお見舞いを申し上げますとともに、再建に向けたご努力に敬意を表したいと思います。

10月に開催されました、国民体育大会並びに障がい者スポーツ大会には、公益社団法人岩手県トラック協会は、オフィシャルスポンサーとして、会員事業者の協力のもとで、式典用具・花苗・競技用具等の運搬を、後半に開催されました『障がい者スポーツ大会』においては、車イスの運搬等、大会の成功を支えることが出来ました。更には、障がい者スポーツ大会における「観戦・応援」行動に当たっては、800名余りの参加により、多大な貢献をすることができました。岩手県をはじめ、多くの関係者の方々から感謝の言葉を頂きました。あらためて、絶大なご協力を頂いた会員事業者並びにご家族の方々に感謝申し上げます。

さて、ここ数年来顕著となっています運転者不足や、安全・環境規制の強化に伴うコスト増が続く中において、適正な運賃収受に向け積極的な取り組みにも係わらず、依然として、トラック運送事業は厳しい経営局面が続いております。

しかしながら、社会は“物流の大切さ”を認識し始め、これまでの荷主懇談会における荷主・企業の皆様の声を拝聴する中においても、トラックの重要性は年々高まって来ており、“縁の下の力持ち”から、やっと表舞台に立てる時代が到来したのです。このチャンスを我々は以下の課題に取り組むことで掴み取ろうではありませんか。

【交通事故防止・飲酒運転の撲滅、労働災害防止について（11月累計：時点）】

①平成28年の会員による重大交通事故の発生状況は、11件（対前年比16件の減）の発生となりました。

その内、第1当事者によるものが5件、死者数“ゼロ”、平成27年同期対比で、件数で5件の減、死者数については6名の減となっております。暦年での『第1当事者となる事故の死者数“0”』については、協会発足以来の快挙となります。

平成29年においても、これまで以上に「運行管理の徹底」を図って頂くことに加え、節目節目での安全点検パトロールによる事業主の意識の高揚を図りつつ、交通事故防止を推進して参ります。